

2024年度

S 4

小 論 文

2月25日(日) 教 育 学 部 (学校教育教員養成課程) 11:00~11:40
【前期日程】

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(1枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、2ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて必ず解答用紙の表面のみに記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。解答用紙の裏面と下書き用紙の記述は採点対象となりません。)
- 5 問題は、声を出して読むてはいけません。

試験終了後

- 6 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

次の資料を読み，【問1】【問2】に答えなさい。

【資料1】 日本経済新聞 2023年7月4日電子版

著作権の関係上、公表しません。

【問1】 生成AIを学校で活用するにあたっての、あなたが考えるメリットとデメリットを具体的に述べなさい。

【問2】 資料1にあるようにチャットGPTの規約(2023年7月現在)は13歳未満の利用を認めていない。この制限についてどう考えるか。教師の立場からあなたの考えを述べなさい。

解答用紙はB4サイズです。

受験番号

S 4

小論文(教育学部)解答用紙

※解答は、すべて必ず解答用紙の表面の枠内のみに入力して下さい。字数は問いませんが、枠内に読みやすく記述して下さい。裏面への記述は採点対象となりません。

【問1】

【問2】

採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	小論文（前期日程：令和 6 年度）	問題番号	S4
対象学部・ 学科（課程）等	教育学部		
出題のねらい	<p>出題のねらいは、本学部アドミッション・ポリシーに掲げられている「教育問題や教育活動に関心が高く、教職への適性・志向性をもつとともに、教員として必要となる基礎的な知識や技能、新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力、および他者と協働的に課題に取り組むことを可能にするコミュニケーション力等」を問うことである。</p> <p>【問 1】では、資料の読み取りを通して、将来の学校の在り方に対する考え方や姿勢への記述をさせて、新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力を測る。【問 2】では、指導・支援に対する具体的な考えや提案の記述を通して、教職への適性・志向性を測る。</p>		
採点基準	<p>〈問 1 配点 50% (75 点)〉</p> <p>①具体性：記述内容が具体的である</p> <p>②明証性：論拠や事実への言及が明確である</p> <p>③多層性：多様な視点や捉え方ができている</p> <p>〈問 2 配点 50% (75 点)〉</p> <p>①具体性：取り組みや活動の内容が具体的で分かりやすい</p> <p>②教職への志向性：児童生徒への適切な言及と教師・学校等への意志や興味の表出がある</p> <p>③独創性：独自のあるいは多彩な考え方や明確な意見の表明がある</p> <p>※ 各問の観点について、A：3つを満たしている、B:2つを満たしている、C:それ以外、の評点を付す（採点不能の場合は評点を付けず 0 点とする）</p> <p>※ 採点者 1 名につき、問 1・問 2 の評価を組み合わせ、得点に換算する</p> <p>AA→75 AB・BA→60 AC・CA・BB→50 BC・CB→30 CC→20</p> <p>※問 1・問 2 の両方もしくは片方が採点不能の場合は、以下のように換算する</p> <p>A→30 B→20 C→10 完全採点不能→0</p> <p>※ 解答 1 部につき 2 名の採点者を当てて採点し、両者の得点を合算して当該受験者の総得点（150 点満点）とする</p>		